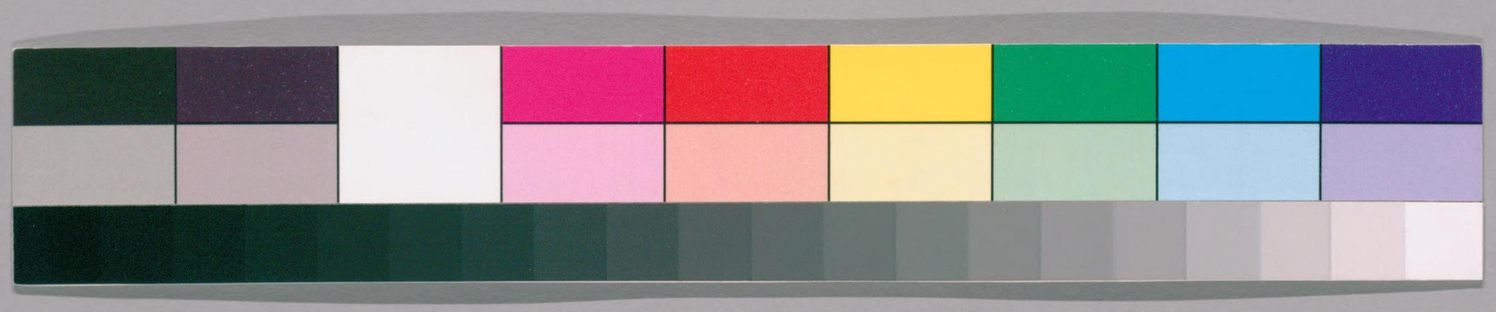
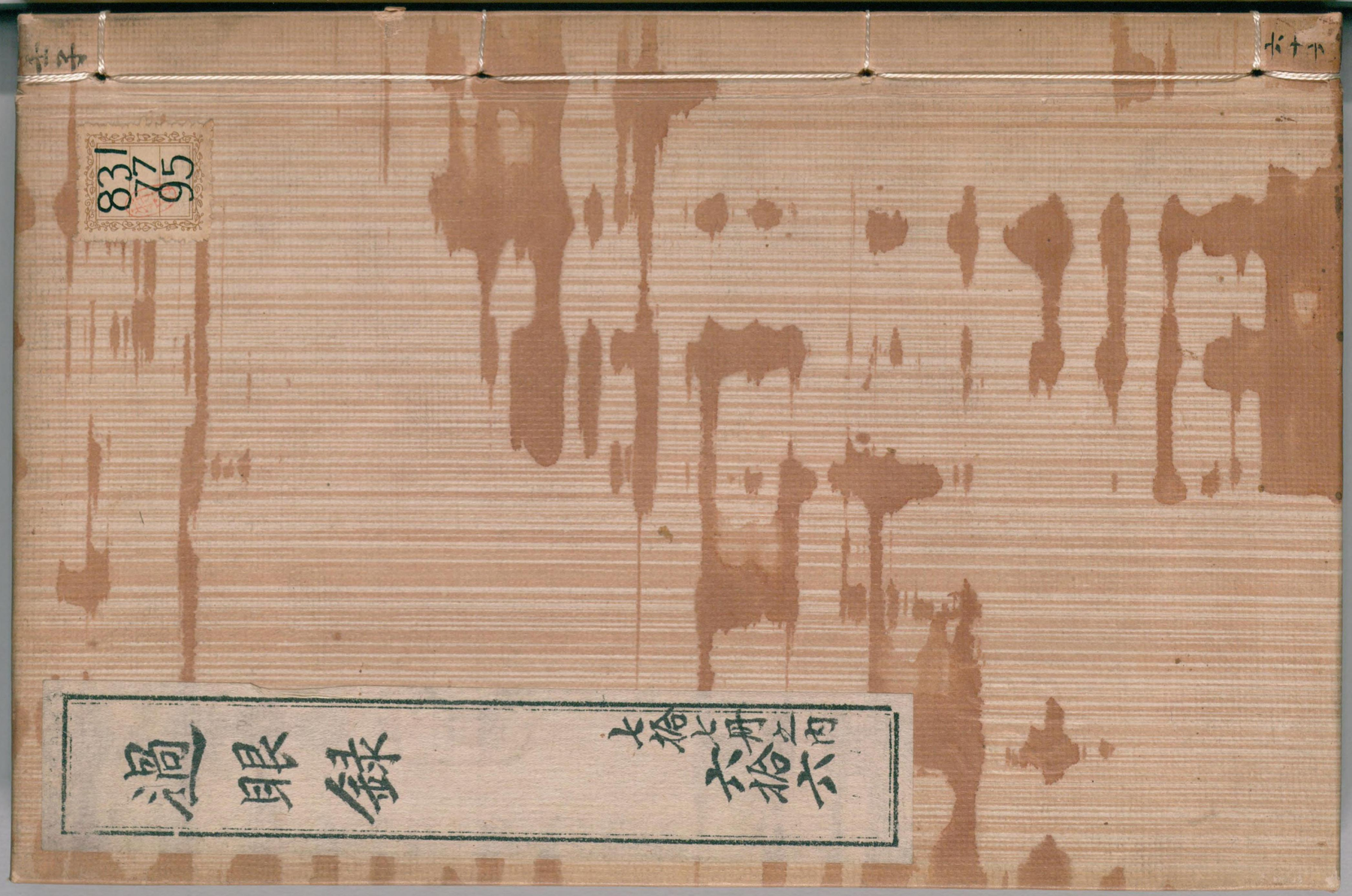




過眼録

七拾七冊之内
六拾六

831
77
95

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

壬子過眼録

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

燭譚錄

伊東源藏記ノ

勝国ノ事

昔寛文ノ頃古堂ト云或古林ト云禪僧アリ名ヲ智堂ト云因テ墨首座ト云妙心寺派ノ僧ニテ丹後文珠堂一寺ニ住ス博図強記ノ誉アリ或時緒方元真氏招キ至シテ坦菴冬嶺ノ諸老共ニ先人仁永一坐ニ會集セリ墨首座目

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

来ウタガハシキヿヲ座中ニ尚タヾ
スソノ中ニ勝国ト云ヿ国是ト云ヿ
堂兄英ト云ヿノ三事先人悉クソノ
美ヲサトセリ曇座大ニ博洽ヲ才ド
ロケリトナン如此ヿハ今ノ学者ハ
大様覚悟スルヿナリタトヘ弁ゼザ
レ凡人ニ尋子書ヲ考ヘテヨク會得
スルナリソノカミハ此等ノヿニテ

先考学尚ヲ称嘆セルトミヘタリ勝
国ト云ヿハ周礼士師ノ下若ニ勝国ノ社
則為之アト人ノ国ヲ滅テカツヿ也
周ノ世ナレハ殷ヲ勝国ト云又左傳
ニモ在リ秦漢コノカタハ多タ前代
ノ禅ヲ受ト云々ヨツテソノ辞モミ
ヘズ明ノ代ニナリテ胡元ヲ攘テ天
下ヲ取タルガユヘカ明人ノ文字ニ

多ク勝国ト云ミダリニ言てジキニヤ

国是ノ事

国是ト云ヿハ後漢書桓譚ガ傳ニ出
楚莊王孫叔敖ト問答ノコトバナリ
一国ノ公是ヲ云相国与諸太夫共定
国是トアリ近比春秋胡傳序ニ近世
推隆王氏新説桴為国是ト宋明ノ文
字多クコレヲ用ユ品字箋云国是挙
国之所公(トスル)是也ト亦アキラカナリ

堂兄弟ノ事

堂兄弟ト云ハ父方ノイトコノヿ也
本ハ同堂兄弟ト云南北朝ノ比ヨリ
之ヲ称ス略シテ堂兄弟ト称ス古ハ
從父兄弟ト云畧シテ從兄從弟ト云
同堂ノワケ品字箋ニ備サナリ比等

ノ丁釋親考ニ詳ニス故ニ省ス之ヲ

哪嗟ノ事

大明律兵律ノ内ニ守把海防武職官員有犯聽受通番土俗哪嗟報水分利金銀貨物等項値銀百兩以上名為買港ト云丁アリ哪嗟ト云丁何事タルヿヲシラズ諸解ニモ註ナシ卿談正音ヲ考ルニ舩主トアリテ下ニ卿ト註シ哪嗟トアリテ下ニ正ト註スシカレバ卿談ノ倍ニハ舩主ト云正音ニハ哪嗟ト云故ニ律ノ條例ニハ哪嗟トシルスナリ今此方海国ニハ舩ヲ持テ業トスルモノアリ即チコノ事ナリ卿談正音ナケレバコノ丁ハスマサルナリ

知盤ノ事

近世俗語ニ和盤ト云フフリ或云一
片婆心和盤托出ス ト或ハ和盤妙蘊ト
西湖佳話ノ内詩ノ句ニ和盤都テ托出
閨閤惹ニ風流ヲ ト云リ畢竟器物食事ナ
トソノ臺盤ヒニ持出ルト云フニテ
淵底ノコラズウチアラハスフナリ

折二銭ノ事

宋明ノ時ニ折二銭ト云フアリ明ノ
時當十當五當三折二小銭ト五等ア
リ小銭ト云ハ余ノ開元永樂十トノ
如キ當ノ銭ヲ小銭ト云折二ト云ハ
少シ大ナリ一文ニテ二文ノ代ニナ
ル當三ト云又大ナリ一文ニテ三文
ニ當ル又折三ヒ云當五ハ五文ニ當
ル當十ハ十文ニ當ル文折十ヒイヅ
レモ名物六帖ニアラハセリ折トハ

準折十ドツヾキテ物ニカユル義也
俸祿ニ絹布ヲワタスヲ折俸ト云米
ニテモ十ヲシニワタスヲ折支米ト
云年貢ニ他物ヲオサムルヲ折税ト
云音物ニ金銀ノ代ニツカハスヲ折
乾ト云珠璣藪ニ折乾ノ注ニ以銀准
折礼物トアリ又役所ニ折博務ト云
アリ交易ノ所トミユ博モカユル義

十月杜氏通典七巻ニ唐ノ麟治三年
米毎斗折五文トアリ此等ニテ折字
ノ義シルベシ

息耗ノ事

後漢書皐后紀数呼相工問息耗トア
リ注耗悪也息耗猶言善悪也ト畢竟
息ハ藩息ノ義耗ハ耗減ノ義後世ニ
消息ト云ガ如シ又前董仲舒傳ニモ

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

察天下ノ息耗師古曰息生也耗虚也
トコレニテ明ナリ後代ニハ只耗ト
云テオトヅレノヿニナル音耗近的
信耗ナド云甚ダ略ナリ何レモ六帖
ニ有リ

丑座ノ事

律髓刈後村牛ノ詩云カ麁曽索寅人
鬪骨朽難湔丑座名ト寅人丑座ノヿ

読者不解其義近比稗海ノ中ニ宋ノ
魏泰ガ東軒筆録ニ在宋ノ丁謂自丁
令威之子孫ト云テ好テ仙鶴ヲ言故
ニ人鶴相ト称ス唐李逢吉ガ牛僧孺
ヲ呼テ丑座トスルガ如シト云々牛
僧孺宰相タルニヨツテ其人ニ不服
牛ノ座ト云ヿヲカソ云ト見ヘタリ
寅人ノヿハ未撿出

牒子ノ事

符牒ノ牒本朝ノ文書ニ必牒ニ位字書ヲ考ニ只俗牒字トソノ故ヲ詳ニセズ游官紀聞ヲ考ルニ唐太宗諱世民牒ノ字葉ノ字皆世ヲ去テ云ニ従フ紲ノ字世ノ字ハ皆世ヲ去テ云ニ従フ寸ハ泄ノ字法ノ字タリ故ニ又曳ニ従フ民ノ字ハ則氏ノ字ニカユ昏愍泯ノ字今或ハ昏愍泯ニ位ルトシカレバ牒ノ字ノ牒ニ位ルモコノ故ナルベシ年代久遠ニシテ後世ニテハ中国人モソノイワレヲ明ニセザルト見ヘスリ畢竟書中ノ字ヲアラタムルハ甚キヿナリ

惇字二音ノ事

周濂溪ノ名惇頤ノ惇トント云章子

厚ガ名惇シユント呼今世学者皆如
此呼来レリ字彙ヲ考ルニ惇ノ字ニ
音アリ支云切音肫心実也又都昆切
音敦厚也信也トシカレバマコトノ
時ハシユンアツキ時ハトン音ナリ
周子初名ハ惇実宋英宗ノ旧名宗実
ヲサケテ改惇頤ト云字茂叔ナリ周
シユン頤ト云ガ宜シ章惇ハアツキ

意ニチ字子厚トソノ音トント呼ベ
シ周トン頤章シユントト云ハアヤマ
レリ近比清人張氏ソノ人ノ一小集
ヲ見ルニ云明ノ唐伯虎名ハ寅又一
ノ字子畏ト寅ノ字ハトラノ時イン
ノ音ツヽシムヿハイノ音字ニ一ハ
伯虎トトラノ戔ヲ取ル一ハ子畏ト
寅畏ノ戔ヲトル唐イント呼ヘキカ

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

唐イト呼ベキカト云リ唐ニテモマ
キラハシキヿハアルナリ閲市ノ次
テ偶見得之ソノ書名ヲ失忘ス

朴字音ノ事

五代ノ宰相王朴ト云モノアリ先人
予髫年ノ時ホウノ音ガヨシトイヘ
リ字書ニソノ弁ナシ後宋景文公筆
記ノ中ニ之ヲ得タリ周文臣王朴名
朴平豆反而自謂樸案説文朴無樸音
俗以朴為樸ト云

視篆ノ事

後世文字ニ視篆ト云ヿアリ僧傳ニ
モ或ハコレ有リソノカミ学士ノス
マサルヿナリ往年何士信ガ群臣一
覧ヲミルニ職官分紀ヲ引テ曰鄧度
使視事三日洗印視其剋缺ト云印ハ

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

篆字ニテ書タルヲ官人役替ノ時ニ
偽妄アランヿヲ慮リテアラヒソヽ
キテ改メミル故ニ新ニ役人ニナル
ヿヲ視篆ト云コレニテ明ナリ後世
ニハソノ位法アルマジキヿモアル
ベケレ尼故実ニテカク宮習タル也
ソレヲ禅林ニ假借シテ僧ノ入院シ
テ始テ住持ニナルヲ滌篆某寺ナド

云ナリマタ何ノ書ニカ詳ナル注ア
リト覚ユ

盤詰ノ事

大明律ニ盤詰苡細ノ条アリ會典巡
檢司ノ下ニ又盤詰ノ字アリ巡檢司
トハ関所ノヿナリ盤詰ノヿハ中国
ニテ常談ユヘニヤサシテ註解ナシ
日本ニテソノ義ヲ詳ニセズ嘗テ韓

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

文ヲ閲スル記憶ノ詩ニ行旦咀嚼行
詰盤スト云句アリ蔣之翹ガ註ニ詰
盤ハ反復也ト註スル。重
征ト云直解ニ譏ハ是盤詰トアリシ
カレバ盤詰ト云ハ物ヲナギンミスル心
ヲ十リ盤ハトリテワスヤウニ関立
レ応反復十リト云註ヲミレバウチ
カヘレギンミス心ヲト見ヘタリ又

盤馬ト云ハワノリスル
舞フヲヲ盤ト云鵬鶴ト
又山坂ノヲリマガリ
ノ方ニテ四十九曲十ド
九盤ト云盤曲ノ戈ニ
勤渠ノ事
三国ノ時分ニ勤渠ト云詞アリ諸葛
孔明ノ言ニ幼宰之勤渠トアリ諸葛

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95　ガラス使用

恪ノ牋ニ詔兼勤渠科禁嚴峻トアリ
イヅレモ通鑑ニノレリ勤渠ノヿ従
来注ナシ詩ノ権輿ノ篇ニ夏屋渠々
タリト云ヲ今ハ大ナルヿヲ渠々ト
註セリ古註ハ勤渠々勤々也トアリ
コレニヨウテ勤渠ト用ルニヤツト
ムルヿナリ一小説ノ内ニコノヿア
ルカト覚ユ

突将無前ノ事

孔明出師表ニ突将無前ト云ヿアリ
古来無可前者ト註アルニ因テ前ナ
シトヨミ来レリ陰山氏云无前ハ當
時ノ軍号ナラント発明ナレ𪜈タレ
モ信用セズ近比林銘ガ古文折衷ヲ
ミレバ云疑ハ當年営中有此軍号ト
アリ陰山氏ノ料簡ト符合セリ予又

當時ノ史鑑ヲ通覧スルニ蜀ニ無當
監アリ呉ニ無難督アリイヅレモ當
代ノ軍伍ノ名号ナリ、シカレバ無前
ト云モ同例ニテ軍号ナルヿ益明也
文献通考兵考ノ中ヲシレバ證拠ナ
的ナリ盍簪録ノ内ニ委細ニシルシ
オリユヘカサ子テ縷々セズ大抵人
ノ思ヒヨリハ唐モ日本モ同キヿニ

テ無前ト云ハ何トヤラ軍伍ノ名ナ
ラシクキコユルヿナリ又トクヽト
考ミレバ證拠ガ出来ルモノナリ

卦影ノ事

朱子語類ノ内ニ卦影ト云ヿアリテ
人ヾソノワケヲ諳ゼズ宋元懐ガ拊
掌録ニ出宋ノ神宗ノ熙寧ノ比蜀ニ
費考先ト云者アリテト筮ヲナス以

丹青寓吉凶謂之卦影ト云リコノ外
滝水燕談録仇池筆記墨客揮犀東軒
筆録ニモアリ何レモ説郛ノ内ニ在
リ大要繪ヲ書テ將来ノ吉凶ヲサト
ルヿニテ世ニイワユル判ジ物ノゴ
トシ或モノ仕合ヲ問テ卦影ヲトス
水邊ニ一ノ月ヲヱガキテ中ニロア
リ後ニソノ人湖州ノ守ト十ル又一
人卦影ヲ占アソノ繪マタ同ジ其後
渭州ノ守ト十ルト燕談録ニ出ヅコ
ノホカモカクノゴトク占フヿナリ
瑯邪代醉ニ軌革ト云ヿアリ帚千卦
影ノヿナリ軌革亦軌格ニモ位ル鄭
樵通志ニ軌革卦影ト云一部アリ多
ク故事ノ載リ
欽差ノ事ノ

明ノ時官様ノ文字公移等ニ多ク欽
字アリ欽差欽准ナドニ云フ處々ニ見
ル平字通云御音曰欽勅御使曰欽命
俗曰欽差ト皇甫汸ガ皇明紀略ヲ考
ルニ明ノ初ニ命アリテ奉旨施行者
亞旨二字ヲ書クフナカレ悉欽ノ字
ヲ以テ代之後々マテ令ト十ルト會
典ノ内ニモコノフアリシカレバ御

ノ字ト同ジキヿト意得テヨシ国朝
典彙百一ノ巻ニ於欽取銀内給之ト
云フアリ文選白文ニ欽差提督紫荊
等閲提刑按登副使トアリ又何ノ書
カ欽定ノ守ニ遵フト云フ何レモ御
ノ字ノ代リニ用ユト覚レバ通ズル
ナリ欽准ト云フ尤多シコノ方ニテ
勅許ナドニ云又ハ公戔ヨリ御免ナド

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

云ガゴトシ准ト云字モ本ハ準縄ノ
準ナレ𪜈畧シテ准ノ字ヲ用ユ此モ
俗義ニテユルス意ニナル準則ノ義
ニアラズ

閣老ノ事

唐ノ時中書舍人ヲ閣老ト云中書省
ヲ一旦鳳閣ト名ラ改メラレタルユ
ヘニ閣中ノ老ト云フナルベシ明ノ
時ニハ天下ノ宰相ヲ閣老ト云ソノ
カミ文淵閣ナド云閣ノ大学士天下
ノ政ヲ掌ル故ニ又閣老ト云丘閣老
張閣老ノゴトキ是ナリ尚又本書ヲ
可考也

花押ノ事

カキ判ヲ花押ト云又押字ト云日本
ニテ判ト云ハアヤマリナリ判ト云

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

ハ奉行役人ナドノ下ヘ出ス裁判ガ
キナリスミ状ナドヘ云判断ノ意也
文ノ一体ニ判語ト云アリツノ判ニ
花押シタルヲ五花判ト云故事アリ
ソノヤウナルヿヨリ轉ジアヤマル
ニヤ今時ノ人押ニ上下ニ一文字ス
ルヿ明ノ太祖ヨリ始ルヿ先人常ニ
物ガタリアレバ何ニイヅルト云ヿ

ヲカタリヲカズ近比群談採餘ヲ見
レバ第二巻ニソノヿ云国朝押字之
製上下多用一畫蓋取地平天成之意
ト云々コノ外ニモマタ本書アルベ
シ

謹空ノ事

傳教ヨリ弘法ヘノ返書ニ高野範闍
梨ワキニ謹空ト云字アリ此書本東

寺ニアリ今青蓮院宮ニ在リ嘗テ之
ヲ一覧ス當時謹空ノ筆ヲ諳ゼズ太
公家礼ノ中ニモアリ、ソノ後方蜜之、
通雅ヲ見ルニツマビラカニ之ヲア
ラハセリ謹空ハ又敬空ヒ云テ戯鴻
堂法帖ノ中顔真卿ノ書簡ニ真卿頓
首和南上澄師大治侍者ワキニ十日
敬空トアリ後世書簡ニ左冲左素ナ

ド書ト同キヿニテ奥ヲ明クルヲ敬
トストイヘリシカレバ唐ノ時分日
リモ用付タルヿニテ中国ニテモ後
世ハシレガタキニヤ

振動ノ事

周礼大祝弁九拜其四日振動ト小補
匀會コレヲ引云四振動謂恐悚迫感
而下手トカシハ手ノヿトミヘタリ

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

貝原氏ノ書ニモアラハセリ康恐字
典ニモノセリ

沒巴鼻ノ事

近代俗語ニ沒巴鼻ト云フ多シ禪書
ニ最多シ或人唐客ノ説トテ云巴ハ
象ノフニテ象ハ鼻ヲトリ使ニヨリ
テ沒巴鼻ノ語アリト云リコレ僻説
ナルベシ巴ト云ハ器物ノトツテノ

フ把子ト云又骲ニ佐ル鼻ハ直ニハ
ナノフ器ノツマミノフナリ沒巴鼻
ト云ハ手ガヽリノナキフナリ巴象
ノ爻ハアヤマリナルベシ大慧呑答
呂舍人書曰覚得昏恒沒巴象可把捉
時使是好消息也又別書云當時使与
一唱至今范然討巴象不著又答曾侍
郎書云當人脚跟下淨倮々赤灑々沒

可把豈不快哉豈不暢哉右ノ諸語イ
以テモ證スベシ

出京ノ事

中国ノ字倒出ノ字出身出軍ノ如キ
ハ身ヲ出シ軍ヲ出スコトソノモノヲ
出スヤリ出門出山出塞曲出寺吟行
スル心ガ如キハ門ヲ出塞ヲ出ル心ナ
リ今ノ人田舎或ハ山中ヨリ京ヘ出
ルヲ云テ出京出洛トモ云ハアタラズ
今ノ人仕官ヤトレテ幸アルコトヲ出
世ト云ハ出身ト同キヤウナレド不
當此ハ佛氏ノコトバヨリ轉ジアヤ
マル心ヤルベシ佛家ニハ出世間ト云
教ヲ蔑シ世間ヲ出離スル故ニ入院
上堂ヲ出世ト云瑞世ト云今ハ僧家
ニテ寺ヲ持ヲ仕合トスルニ因テ世間

ニ出テタイト云非ト
出山出家ノ義ト相叶
ヘ来ルハ入京ト云ベ
ハモトヨリ上京上都
ヿナレ又平成天王寺
ヨレ辞ニライアレバ
進止之事
後漢書楊修傳ニ護軍不知進止ト進
止ノヿハ此等尤古ト
来ハ官様ノ定タル心辞ト
スルヿナリ通鑑唐ノ則天武后ノ本
記ニ軍国大務不決者兼取天后進止
ト又穆宗記ニモ字逢吉宣レテ曰刘
栖楚叩頭候進止ト胡三省註云程大
昌ガ説ヲ引テ云奏劄ニ取進止ト云
ハ猶言此劄之或留或却合禀旨可否

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

也唐ノ中葉ヨリ遂ニ處分ヲ以テ進
止トスソノ後ニハ一槩ニ有旨ヲ進
止ト云相兼ルノ誤ナリト又石林燕
語ニモ委細ニコノ説ヲ著ハセリ曰
臣僚上殿劄子未槩言取進止猶言進
退也予弱齡ノ時諸友ト八大家文鈔
ヲ會読ス宋文ノ内ソノ尾多取進止
ノ字様アリソノカミハ心モ不経先

人モ何トヤラノノ説アレヒ慥ニ記
セザリキ其後史書渉獵ノ次手ソノ
説ヲ考得ルヿ右ノ如シ又按国史兼
和三年帝御紫宸殿賜入唐使大使常
嗣欲上壽先候進土ト云々又明史紀
事本末李文忠謂左丞趙庸等曰今大
同被攻甚急右候進止豈不失機ト云
々シカレバ日本ニテモアノ方後世

明ノ世ニ成リテモ通用シテ云フト
ミヘタリ畢竟上ノ御サシツヲウケ
ガフフサリ平家物語ノ内ニモヨノ
辞アルカト覚ユ近代ノ公文等ニモ
有ヒロク通用シ来ルフニテ近代マ
レナルニ因テスマサルフノ様ニナ
リ侍ル

大資ノ事

近思録伊川謂韓持国曰大資居位却
不求人乃使人倒来求已是甚道理ヨ
ム人大資ノ何事タルフヲシラズ或
云大官ノ称ト此宋ノ故実ヲ諳ゼザ
ルユヘノミ避暑録話ニ云观文而資
政称大資此何理耶文献通考ニ云張
大資浚万俟資政卨ト又陳簡斎詩集
有刘大資挽詩註云刘韐贈資政殿大

学ト右ノ諸文ヲ考シ
殿ニ大学士并ニ学士
政ト呼大学士ヲ大資
韓持国ソノカミ資政殿大学士タル
ニ因テ伊川称之大資居位トイヘル

監司ノ事

唐史ノ書ニ多ク監司ト云フアリ人

ソノ事実ヲ詳ニセズ
ノ時分ヨリモミヘタリ杜元凱ガ
書曰尚委監司隨而弾之
ガ註ニ監司御史司隷及諸州刺史也
ト文献通考ニ古者牧伯之任後世之
所謂監司也隋以前多謂之刺史唐
以刺史名知州而牧伯始別有以名其
官ト云々此等ニヨツテ監司ノワケ

レルベシマヅ唐宋ノ制縣ニ知縣ア
リテ一縣ノ政ヲ掌ル州ニ知州アリテ一州ノ政ヲ掌ル州
ハ唐ニテハ道ニ屬シ宋ニテハ路ニ
屬ス一道ノ奉行人一道ノ内諸州縣
ノ□ヲ察ス其任一人ニアラズ提刑
使安撫使ノゴトキイヅレモ是ヲ監
司トス程子云今之監司多不与州縣
一体ト一道ノ奉行支配ノ州守縣令
ト和合セザル事竟ニ監司ハ一道
一路ノシマリ役人ヲ称シテ云ナリ
名山藏英宗紀監察御史曹泰言今布
政司即古州牧按察司即古監司

羅城門之事

平安城朱雀ノ末ニ羅城門アリ遺址
今ニ存ス固ヨリ名ノミカキ事ナリシ

カレ尼羅城ト名ヅクルヿ明ナラザ
ルヨシ拾芥鈔ニ出畢竟羅城ト云ヿ
ハ郭ト云ヿナリ羅城門ト云ヿハ郭
門ト云ヿナリ平安城ソノカミ盛ナ
ル時四方ニ郭アリソノ南門ナリ唐
書ニ高宗ノ時築京師羅郭又通鑑唐
ノ懿宗紀ノ注ニ羅城ハ外大城也子
城ハ内小城也又朝鮮ノ崔世珍ガ訓

蒙家會云郭俗称羅城コノ諸書ノ文
ニテソノ爰明ナリ羅ハ周羅網羅ノ
爰ナルベシ惣グルロノヿナリ

邪久国ノ事

弘簡録琉球傳ニ隋大業三年煬帝令
羽騎尉入海訪求異俗云々掠其一人
并取其布甲而還時倭国来使見之曰
此彝邪久国人所製也ト云々此文通

典等書ヨリ引用邪久国ト云ハ今薩州ノ管内ニ八久ノ島ト云地即ソノ所ナリ古ヘハ種子島ナドノ如ク一国ニ立タルユヘニ如此書クナリ日本記推古天王二十四年ニ夜句人七口来云々又云掖玖人三口帰化又平攘録ニ養久山居海中方圓二百餘里ト云々イヅレモ文字ハカハレだ皆同キヿナリ日大紀ノ書法ヲ考レバソノカミハ別ニ一国ニテ蝦夷ナドノ如ク化外ノ地ニテ来ダ日本ノ版図ニハ入ラズト見ヘタリ

閑架ノ事

宮室ノ制ニ間架ト云ヿアリ或ハ五架三間ト云或ハ七架五間ト云唐ノ治宗ノ時ニ間架陰陌ノ税アリ文章

家ニ間架布置ノ法有リ人間架ト云ワケヲ弁ゼス架トテ家ノ造リヤウハ南面ヲ本ト式トス棟ハ東西ヲ指テ亜中ニ在リコレヲ脊中ノ架トス棟ノ北ニ架アリ南ニ二架アリ合テ五架ヲ中ニ耳テ南北ニ並リサテソノ中ヲ東西ニシキリ又コレヲ三間ト云

北ニ柱四ツ立柱ト柱トノ間ヲ一間トス四柱十八ユヘニ其間三間ナリ柱理大全ノ内家礼補注ニ云古者堂屋五架中脊之架曰棟次棟之架曰梠後梠之下以南為堂以北為室与房今當以此一架為四架為龕室以前四架為堂

五架三間ノ制如此七架五間ト云モノコレニ準ジシルベシ小々ノ屋宅ニモコノツモリハアルヿナリ唐ノ治宗ノ時聚歛ヲツトメテ架ノ数間ノ数ニ目テ運上ヲ取ルヲ間架ノ税ト云ナリ通監ノ注ハタシカナラザルヤウニ覚ユ又丈章ノ内ノ章法句法ノマクバリ宜キヲ宮室ニタトヘテ間架ト云ナリ

過字二音ノ事

過ノ字平去ノ両音アリ今人先ハ平ト覚ヘ時ニ回テ仄ニ使フト云字彙云凡過失之過超過之過則去声論語苟有過孟子過孟賁遠矣之類是也経過之過則平声孟子三過其門而不入之類是也トソノ別分明ナリ人ヲ見

舞ナドスル過訪過從ノ類トヲリフ
ルヲハ平也山屐経過滿徑迹ト云是
ナリソノ所ヲコヘスギテ行トキハ
去声傍花隨柳過前川ト云ハ川ヲ打
越シテ先ヘユクナリ本音ハ古臥切
去声超也ト云々又古禾反音女経也
トアリシカレ𪜈論孟集注ニハイツ
レモ音義ナシ

李闖音剡ノ事

明季ノ賊李自成李闖ト云明人ノ文
字ニ闖賊ナト云ヘリ人々李千ント
覚来レリ呂字箋云闖初両反此字本
音趁原注馬出門貞云々原无牕上声
音義自戯劇張飛闖轅門近李賊又以
闖自称世俗皆以為剡音云々シカレ
バ李闖ハ近来李サウドヨミ習セリ

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

所由ノ事

唐ノ時分史傳ノ間ニ所由ト云フ読者多ハヨル所トヨミ十セリソノカミ役ノ名ナリ唐ノ敬宗ノ時裴度宰相タリ京兆尹刘栖楚裴度ガ耳ノハダヘヨリテサヽヤキケル侍御史崔咸ト云モノ觴テ度ヲ罰シテ曰丞相不應許所由官咕嗤耳語ト度笑テ之ヲ飲ムト胡身之ガ通鑑ノ註ニ云唐人謂府縣官為所由項安正曰今坊市公人謂之所由綱目集覧云所由官郡官也又曰所由即今保正青藤山人路史云太平廣記中毎官捕人必称所由々々者是邏卒類也ト弔思フニ所由ト云ハ今時役人ナドニ云ガゴトシ貴賤ニ通ジテ云京尹ナトノ歴々ノ官

人モ保卒邏卒ノゴトキ賤役モ通ジ
テ之ヲ所由ト云トカタ下役ノ丁也
本朝ニモ前代コノ職名アリテ国史
ノ中ニモ著ト

阿家阿翁ノ事

唐代宗ノ時郭子儀ガ子郭暖公主ヲ
尚セリ不遜ノコトバアリ代宗アレ
ヲ閔タマヒテ不痴不聾不位阿家阿
翁トイヒテ其マヽサシ置テカマヒ
玉ハズトナリコレハ物ゴト大目ニ
セザレバ家ノ主人トハナラレスト
云ヿナリコレヨリ前南史殷仲文ガ
傳ニコレアリ不痴不聾不成姑公敢
位此言亦為異也ト云々姑公ト云ハ
昂チ阿家阿翁ナリ主婦主人ヲ云公
姑ト云ハズシテ姑公ハ韻ニ便ズル

十リシカレバ阿家ハ阿姑トヨムベシ曹大姑ハ曹大家ニ倣リテ姑ノ音ニヨブト同キヿ十リ〇又困学紀聞ニ愼子ヲ引テ曰諺云不為王不聾不聰不能為公コノコトバ益古シ

曲逆音ノ事

漢ノ陳平曲逆侯ニ封ゼラル漢書ニ音義ヲシテ文選ニ陸子衡ガ高祖功臣頌ヲノセ其詞云曲逆宏達好謀能諫ト註ニ曲區句反逆音遇ト孔氏雜説ニ之ヲ引クシカレバコウグヮウ候トヨムベシ

槍大ノ事

未信編ニ云多帯衙役厳槍火之人ト前後ノ文ヲ玩フニ槍火ト云ハ火事

場ノ盗人ヲ云トミヘタリ此日品字
箋ヲ見レバ搶ノ字ノ註ニ爭取也強
奪也突前也俗以後突前謂之ノ先ト
コレニテ搶火ノウヽ明ナリ凡テ中
国ノヿハ古来ヨリ人々ヨク記シ方
ノニヨリテ心長ク考アハスレバス
マサルヿハナキモノナリ

鬆字ノ事

近世種樹ノ書又ハ筆法ノ書ニ鬆ノ
字多ク使用ユ大抵物ノヤワラカナ
ルヿト見ヘタリ然レ𠂢字書ニ明解
ナシコレモ品字箋ニアリ云鬆鬆ハ
髪乱貌俗以為実之對緊之反也トコ
レニテ明ナリ土ナドノヤワラカニ
ボカ〳〵シタルヲ土鬆ト云紙ニテモ
同ヿナリ

大漸弥留ノ事

書ノ顧命ニ疾大漸惟幾病日臻既弥留ト云フ蔡注ニ其疾大進惟危殆病日至既弥甚而留連ト解セリ病ノ日ニ大モリテ同ジクライニモ千テ才ルヲ云大漸弥留ハタガ上ニテモ重病ハカク云ベキヿナレバ本成玉ノ事ヲ云ルユヘニ天子ノ御違例ナル

ニ用ユルナリシカルニ文選ニノスル王仲宝ガ褚淵碑文ニ景命不永大漸弥留ト云リソノ比マデハ臣下ニモ通ジテ用タルヿト見ヘタリ後世ハ決シテ天子ニカギレリ凡テ言辞ノ道字ニ定例アルニ非ズ古来ヨリ用ヒ付タル上自ラ貴賤敬慢ノ体ワカルヽヿナリ博ク考ヘ審ニ吟味セ

ザレバアヤマルヿ多シ朕ト云字イニシヘハ上下ニ通用セリ秦ヨリ以後ハ天子ノ称ニカギル亦此例ナリ

斯文ノ事

東人詩話ノ内ニ金斯文韓斯文ト云人アリ斯文ト云ハ人ノ称呼ニ似タリ後ニ珠璣藪ヲミレバコノヿアリ称提学曰文宗泛称斯文亦曰文宗又云称文トシカレバ秀才茂才ナドヽ云ガゴトリ学者ヲ呼ブト見ヘタリコノ事論語ニ本ブリ逃世ノ書ニハアマリ見アタラズ

扮戯子ノ事

傳習録ニ扮戯子ト云ヿアリ人々スマサル事ノ様ニ云正字通ヲ考レバ扮ノ字ハ本房吻反粉ニテ握也ト扮

戯ノ時ハ連患切班去声今俗以装飾
為ニ扮演劇者飾ニ其面ヲ謂之ニ扮戯ト又吊
字箋ニハ扮ノ下ニ扮粉扮トアリ
又竜図公案第一将銀催ニ道士假扮
轎夫ト云々此等ニテ扮戯ノワケ著
明也

六朝ノ事

六朝ト云ハ呉東晋宋斉梁陳ノ六代
ヲ云三国呉ノ時ヨリ金陵ニ都ヲ定
メテ陳ノ世マデ六代ニナル故ニ六
朝ト云故金陵懐古ノ詩ニ曼草寒烟
鎮六朝ト又六朝如夢鳥空啼ト云今
ノ南京應天府ノ丁ナリ又ハ秣陵ヒ
云世ノ人六朝ト云ハタヾ南朝ノ丁ハ
ヲ云ト覚タルハアラマシナリ

凌遅處死ノ事

凌遲處死ト云ハ後世ニ起タル極刑
ナリ唐ノ安録山ノ乱平原太守顔杲
卿不屈ニヨツテ禄山ガ円之ト云昂
チコノヿナリ生ナガラ肉ヲコソゲ
テ骨バカリニシテナブリゴロシニ
スルヿナリ字彙ニ円音寡説文剔人
肉而置其骨也ト宋ノ時ニモ有之文
献通考ニハ凌持ニ位ルコノヿ大学

衍義補ニ詳ナリ元ノ時ヨリ刑書ニ
アラハレテ重悪ノモノ此刑ニ處ス
ルナリ明律ノ内処々ニアリ嘗記ス
本草綱目白芨ノ下ニコノヿアリテ
ツノカミ會得セズタヾコノ方ニテ
タメシモノスルナドノ類トスマセ
リ先人衍義補ニクワシクノリタル
ヨレ云ノ詳ナルヿハ盍簪録ニアラ

ハシ置故ニコヽニ繁ク述セズ

案欵ノ事

童子問ノ内従前諸儒多於此欠案欵トイヘリ常ニ学者ノ尚ナイメス胡三省ガ通監唐則天紀ノ註ニ獄辞之出於囚口者為欵々誠也言所吐者皆誠実也ト又本朝令ニモ至リテモ下ヨリ官位等ノ事ニ付朝廷ヘ願上ルヲ欵状ト云体アリ兎角下ヨリ上ヘ申上ル願ノコトバヽリ又案ノ註胡曰案考也拠也獄詞之成者曰案言可考拠也凡官文書可考拠者皆曰案ト称紀ノ註ニハ官文書以為拠者亦案ト云乎字通ニ凡庁府與除成例及獄訟論定者亦曰案ト云ハ公羊ニテ文書ノヒカヘ十リ今ロ宣案ト

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95
ガラス使用

云是ナリ又格ノ内ニ按案内ト云フ
多シヒカヘノ内ヲギ
見ヘタリ今事ノ下地
ナレルトト云又下ガキ
ドニ云按案内ヨリ訛轉
コレヲ合テ案歟ト云
センギヲスルナリ
ニ云文璉家有李順案
歟本末甚詳ト

下ヨリ書上ケ上ノトノ
リ云ナリ

魯魚帝烏ノ事

抱朴子云書写以魚為魯以帝為烏ト
浚世魯魚帝烏ト云コ
矣渡河ヲ三豕渡河ト誤リ玄豕ト云
三豕ト云フ本ヨリ著キフナリ文心
雕竜云音之史記三豕渡河文変之誤

也又云尚書大傳有別風淮雨帝世紀
云列風淫雨別列淫淮字似潛移ト云
々〇後陶陰ノ誤ト云コレニ本ヅタ
朱子語類陳煒ガ跋ニ魚阴之病謾不
可読トコレハ魯魚陶阴ヲ合セタル
ナリ又鳥焉馬アリ又媼温アリ周田
アリ此ハ礼記ニ書経ヲ引タルヨリ
云カト覚ユイヅレモ誤字ノヿナリ

三月雨中戯ニ類記ス

上大人丘乙己ノ事

上大人丘乙己化三千七十子示小生
八九子佳位仁可知礼コノ三字ヅヽ
八句末ニ必也字ヲ曳ク小児ノ手習
ヲスルニハ天下一同ニコレヲ学フ
祝枝山猥談ニ水東日記ヲ引クハシ
クイヘリ孔子ソノ父ニ上ル書也ト

大人ニ上ル丘ト二身ノ化トコロ三
千人ツノ内ニテハ九七十二人更ニ
佳ニシテ仁ヲ行ヒ礼ヲナスヿ知ヘ
シトナリ葉畫ノ少キ字ヲヨセ合テ
小児ニ教ルナリ大慧荅呂郎中ニ書ニ云
平生所読底書一字也使不著蓋従ニ上
大人丘乙己時使錯了也只欲ニ富貴ナシト耳
ト云々幼少ノ時コノ上大人ヲ習フ

此ヨリアヤマルト云フナリノ日本ニ
テ云ハ伊呂波ヲ書習フ時カラト云
ガ如シ

平安 讀書堂

国立国会図書館 タイトル『過眼録』 請求記号 831-95
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

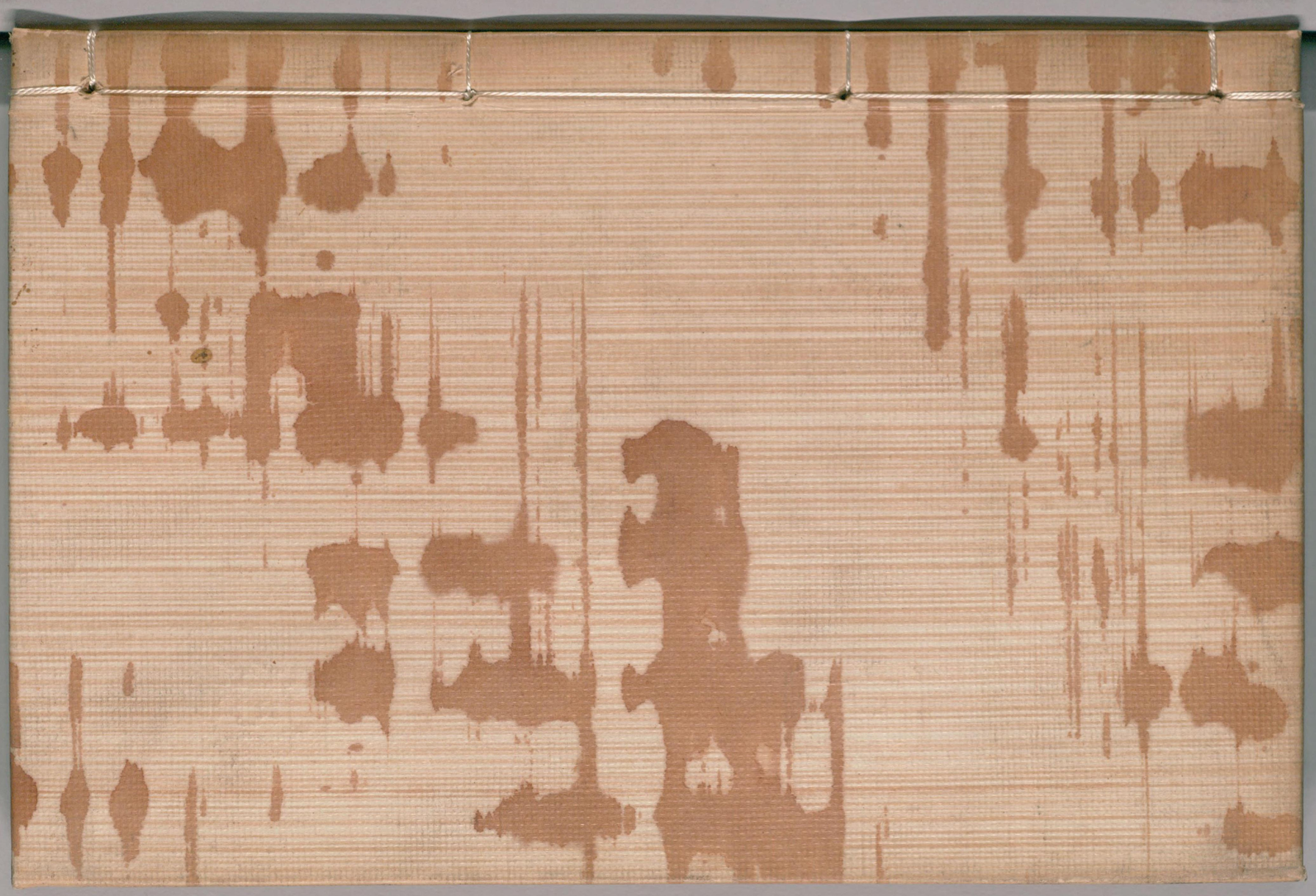
国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

831
77
95

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『過眼録』　請求記号 831-95

ガラス使用